

令和 5 年度

中国四国農政局所管農業農村整備事業等

優 良 工 事 等

中国四国農政局表彰

概 要

令和 5 年 12 月

中国四国農政局

目 次

【優良工事】

安藤工業株式会社 1

道前平野農地整備事業
安用出作団地区画整理その他（その３）工事

カナツ技建工業株式会社 2

揖屋施設応急対策事業
揖屋排水機場沈砂池整備その他工事

株式会社川畑建設 3

南周防農地整備事業
伊陸中央第２団地区画整理工事

株式会社三興組 4

香川用水二期農業水利事業
幹線用水路弁類改修（その２）工事

株式会社豊国工業 中四国支店 5

吉野川北岸二期農業水利事業
遠光他水位調整ゲート製作据付工事

株式会社丸島アクアシステム 6

小阪部川施設機能保全事業
小阪部川ダム放流設備整備工事

【優良業務】

N T Cコンサルティング株式会社 中国四国支社 . 7

国営造成施設ストックマネジメント推進事業
農業用ダム技術検討業務

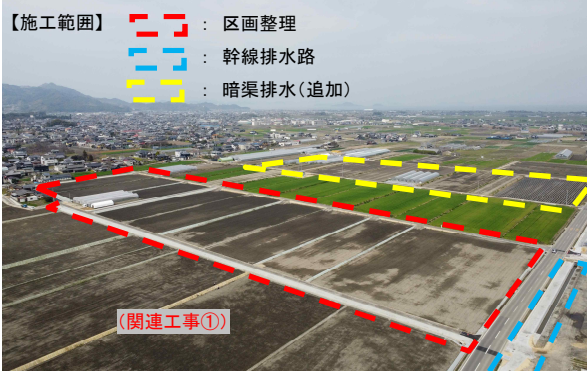
サンスイコンサルタント株式会社	・ ・ ・ 8
南予用水施設機能保全事業	
南予用水地区実施内容とりまとめ業務	
株式会社三祐コンサルタンツ 岡山支店	・ ・ ・ 9
小阪部川施設機能保全事業	
小阪部川地区水利用検討業務	
株式会社チェリーコンサルタント	・ ・ ・ 10
道前平野農地整備事業	
道前平野地区営農推進検討（その2）業務	
内外エンジニアリング株式会社	・ ・ ・ 11
児島湾沿岸農地防災事業	
締切堤防（福島側取付工区）耐震検討他業務	

<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	表彰理由
安藤工業（株）	道前平野農地整備事業 安用出作団地区画整理その他 （その３）工事 （愛媛県西条市新町及び 安用出作地内）	1. 本工事の施工箇所は、隣接して３件の関連工事が実施されており、営農を行う耕作者への配慮等、十分な連絡・調整が必要な工事である。受注者は、積極的に関連工事受注者との調整や地域住民とのコミュニケーションをとり、円滑かつ安全に工事を完成させた。 2. また、受注者は、整地工（基盤造成及び表土整地）において、作業効率の向上のために、情報化施工技術によるＩＣＴ建設機械（マシンコントロール（ＭＣ））の使用及びＵＡＶ空中写真測量出来形管理の活用により、測量作業や丁張りの簡素化等を図り、週休２日（４週８休）も達成し遅延なく工事を完成させた。 3. さらに、急な地元農家の営農計画変更に伴う工事内容の変更（暗渠排水の追加）など、現場条件の変化にも迅速に対応して工事を円滑に実施し、事業推進・事業効果の早期発現（水田の汎用化）に寄与した。 4. この他、熱中症指導員の現場常駐などによる安全衛生の取組や、地元高校と協力し、現場実習による人材育成活動、カーボンオフセット（えひめ県産オフセットプロジェクト）の参加及び工事箇所周辺の地元改良区管理の水路清掃活動など、地域社会や住民に対する貢献活動に積極的に取組んだ。
概 要		
本工事は、国道前平野農地整備事業計画に基づき、安用出作団地における区画整理工事及び幹線排水路工事を行うものである。 （主要工事） （１）整地工		

【施工状況等】

<ほ場整備(工事完成)>



<暗渠排水工の施工>



<ICT施工(基盤造成・表土整地)>



<人材育成活動>



<工事>

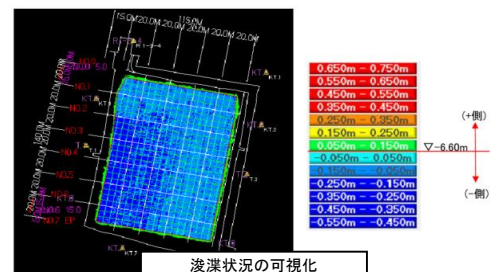
受注者名	工事名 (施工場所)	表彰理由
カナツ技建工業（株）	揖屋施設応急対策事業 揖屋排水機場沈砂池整備その他工事 (島根県松江市東出雲町錦浜地内)	1. 浚渫工事における出来形管理 浚渫工事にICT浚渫機（マシンガイダンス）を導入。室内モニターに沈砂池の浚渫範囲や計画高を表示させ、仕上がり高さとなった箇所は水色に着色されるように設定。これにより、高精度かつ効率的に浚渫作業を行った。 2. 仮設土堰堤盛土の品質確保 仮設土堰堤が崩落した場合、工程に影響を与えるリスクがあることから、赤外線水分計により含水比を確認し、盛土作業を行うなど、品質確保に努めた。 3. 関連工事との調整 複数の関連工事との施工調整等に、ドローン空撮写真を用いた資料を用い、円滑な工事進捗を図った。 以上のとおり、最新技術を導入し品質確保を図るとともに、関連工事との施工調整等を主体的に行うなどを高く評価。
概 要		
本工事は、国営揖屋土地改良事業計画に基づき、揖屋排水機場を整備するものである。 (主要工事) (1) 沈砂池整備工 堆積土砂浚渫 6,070m³ (2) 仮排水設備工 1式 (工 期) 令和4年8月5日～令和5年3月30日 (請負代金（最終（税込み））) 120,780,000 円		

【施工状況等】

1. 浚渫工事における出来形管理

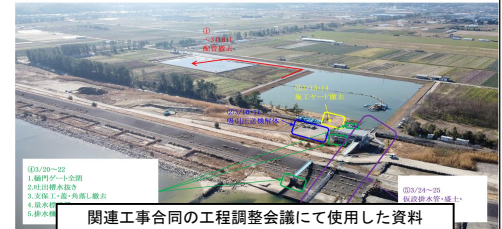


2. 仮設土堰堤盛土の品質確保



3. 関連工事と調整

RS.3月 作業工程



<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	表彰理由
(株)川畑建設	南周防農地整備事業 伊陸中央第2団地区画整理工事 (山口県柳井市伊陸地内)	1. 工事対象区域全体にUAVレーザーによる 起工測量、3次元設計データの作成、ICT 建機による整地工、TLS出来形管理などの 施工技術を導入し、従来施工と比べ高い生産 性と品質を確保した。 2. 工事着手前に実施する地権者説明において、 AR技術を活用。完成後のほ場形状、道水路 配置を視覚的に説明することにより、円滑な 地元調整と工事の施工を図った。 3. 事業地区内の高等学校（農業・工業）の現 場実習及び現場説明会を受け入れ、学校教育 と連携した人材育成に寄与した。また、山口 県土地改良建設協会が主催する技術研修会 で、国・県の職員のほか協会員にICT技術 の活用について講習し、技術の普及に努めた。 以上のとおり、情報化施工技術を活用し、高 い生産性と品質を確保するとともに、円滑な地 元調整、学校教育との連携、社会貢献に寄与し たことを高く評価。
概 要		
本工事は、国営南周防農地整備事業計画に基づき、 伊陸中央第2団地における区画整理工事を行うもの である。 (主要工事) (1) 整地工 A=16.76ha (2) 水路工 L=5,372m (3) 支線道路工 L=1,374m (4) 付帯工その他 1式 (工 期) 令和2年1月10日～令和4年6月20日 (請負代金(最終(税込み))) 517,473,000円		

【施工状況等】

<ICT 施工技術の活用>

ICT 建機による基盤整地工



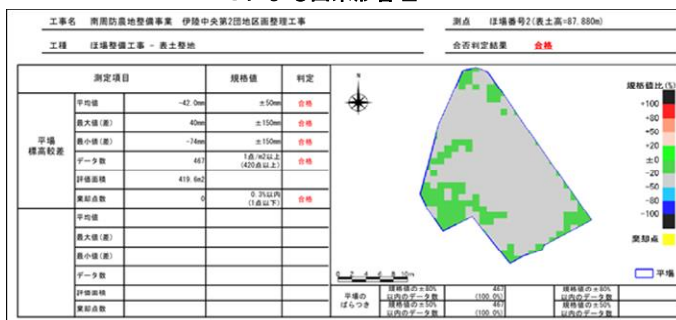
ICT 建機による畦畔整立



MCバックホウ(車載コントロールボックス)



TLSによる出来形管理



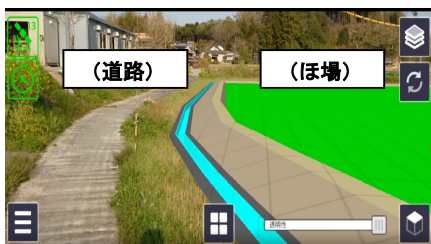
補足1) ICT 建機：マシンコントロール (MC) やマシンガイダンス (MG) の機能を搭載した建設機械

補足2) マシンコントロール (MC)：バケットや排土板の高さ・勾配を建機自体が自動制御してくれる機能
マシンガイダンス (MG)：オペレーターをガイダンスでサポートする機能

補足3) TLS による出来形管理：地上型レーザスキャナを用いた施工管理

<AR 技術の活用>

地権者説明に活用 (イメージ)



<社会貢献>

学校教育と連携した人材育成



技術研修会での ICT 技術の普及



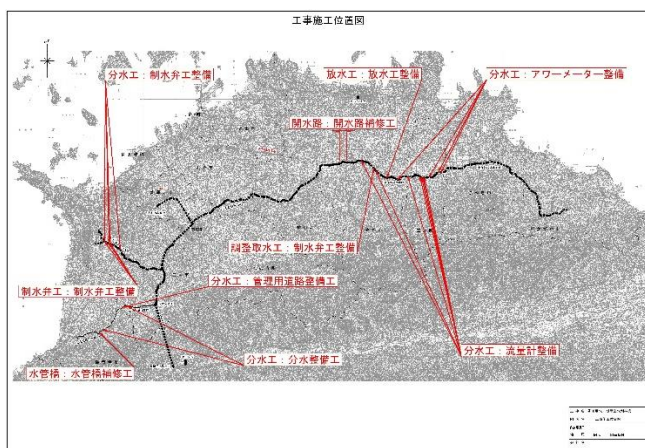
<工事>

受注者名	工事名 (施工場所)	表彰理由
(株)三興組	香川用水二期農業水利事業 幹線水路弁類改修(その2)工事 (香川県高松市、三豊市、観音寺市、 木田郡三木町)	本工事は、既設幹線水路等付帯施設の整備を行うものである。施工範囲は、香川県全域(島しょ部を除く)と広範。工事箇所は、点在する全 25 箇所で、工事内容は、制水弁、流量計、開水路補修、管理道整備等多岐にわたる。工事期間は、非かんがい期に限定され、かつ各施工箇所に、施工上の制約等がある。 このような条件下で、受注者は、現場条件を適切に把握し、所定の品質を確保した。 また、関係機関や地域の関係者と適切にコミュニケーションを図りながら、円滑に工事を進め、限られた期間の中で安全に工事を完成させた。 以上のとおり、適切に現場条件を把握し、施工管理、安全管理及び工程管理に努め、所定の工期内に安全に工事を実施したことを高く評価。
概 要 本工事は、国営かんがい排水事業「香川用水二期地区」において、老朽化した幹線水路等の改修を行い、農業用水を安定的に供給するための工事である。 (主要工事) (1)制水弁整備工 13箇所 (2)流量計整備工 7箇所 (工 期) 令和4年8月 19 日～令和5年3月6日 (請負代金(最終(税込み))) 140,800,000 円		

【施工状況等】

① 広範にわたり点在する施工位置

位置図



流量計室内における機器設置状況



② 各施工箇所の条件に応じた品質確保

流量計室内における配管施工状況



制水弁室内における弁設置状況

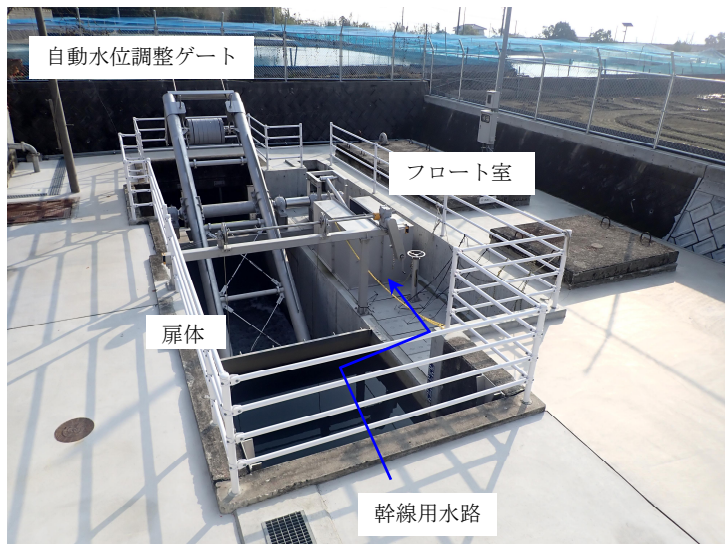


<工事>

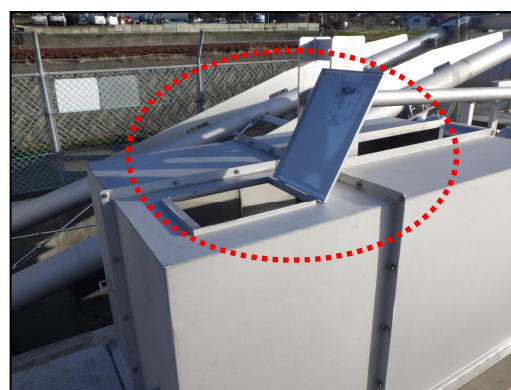
受注者名	工事名 (施工場所)	表彰理由
豊 国 工 業 (株) 中四国支店	吉野川北岸二期農業水利事業 遠光他水位調整ゲート製作据付工事 (徳島県阿波市市場町大俣及び切幡地内)	1. 本工事は、幹線用水路内の既設自動水位調整ゲートの改修を行うもの。用水は、通年通水されており、工事の実施可能期間「5日」と制約がある中、関連する土木工事と調整を図りながら、工程管理を行い、所定の出来形及び品質を満たすとともに、安全に工事を完了させた。 2. 改修対象の自動水位調整ゲートは、幹線用水路脇のフロートで上流水位をほぼ一定に保持する仕組み。フロート室については、ゴミ等が入りフロートの動作に支障をきたさないようカバーが設置される。ここで、受注者は、フロート室内の状況を確認しやすくするため、フロート室カバー上部に点検口の設置を提案。また、維持管理中、現場ですぐにゲートの取扱いができるよう、「取扱説明書ダウンロード用QRコード」を現場施設に掲示するなど施設管理の低減につながる効果的な提案がなされた。 以上のとおり、適切な工程管理、現況施設を把握し、維持管理を考えた積極的な提案がなされるなど、的確に工事を実施したことを高く評価。
概 要		
本工事は、吉野川北岸二期農業水利事業計画に基づき、老朽化し不具合が生じた水位調整施設の更新を行うものである。 (工事概要) (1) 遠光チェック工 1) ゲート設備 1 門 型式 ステンレス製自動水位調整ゲート 寸法 純径間2.700m、扉高2.700m 2) 鋼製付属設備 1 式 (2) 市場チェック工 1) ゲート設備 1 門 型式 ステンレス製自動水位調整ゲート 寸法 純径間2.700m、扉高2.300m 2) 鋼製付属設備 1 式 (工 期) 令和4年9月1日～令和5年3月29日 (請負代金(最終(税込み))) 118,030,000 円		

【施工状況等】

施設全景



フロート室カバー上部の点検口蓋



取扱説明書ダウンロード用QRコード



※青：流水方向

フロート室内部状況

上流



<工事>

受注者名	工事名（施工場所）	表彰理由
（株）丸島アクアシステム	小阪部川施設機能保全事業 小阪部川ダム放流設備整備工事 （岡山県新見市唐松地先）	本工事は、ダム放流設備の更新のうち、利水放流ゲートの製作、据付を行うもの。 1. 現場搬入路（市道等）3.9kmは、山際を開削して造成された河川沿いの道路で、全幅4m以下、カーブが多く、離合できる場所も少ない。また、据付場所付近は、進入路を設置するスペースもなく、ダム下流の発電所建屋の山際2.7mのスペースでしか施工場所に進入できない。ここで受注者は、交通対策としてできるだけ小型の運搬車両を選定（6t車）するとともに、通信状況が良いところに無線を持った誘導員を配置。また、据付場所付近への進入に当たっては、搬入可能な規格のダンプトラック（特殊仕様）を調達。これらの対策で搬入の効率化を図った。 2. 本工事に関連する設備等の整備を関連工事で行うが、施工スペースが確保できないため、それぞれの工事が工程のクリティカルパスとなる。特に河川区域内で行う工事もあり、関連工事と厳密な調整が必要となった。ここで、受注者は、本工事で施工する高圧スライドゲートと、関連工事で施工する上流の漸縮管部に、据付架台の設置を提案し、施工の効率化を図るとともに品質を確保した。 以上のとおり、適切に現場条件、工程条件を把握し、製作、施工方法の提案を図りながら的確に工事を実施したことを高く評価。
概 要		
本工事は、国営小阪部川土地改良事業計画に基づき、小阪部川ダムの放流設備を整備するものである。 （主要工事） （1）放流設備 ア 利水放流主ゲート 1門 （ア）形 式 ジェットフローゲート （イ）口 径 1,200mm イ 利水放流副ゲート 1門 （ア）形 式 高圧スライドゲート （イ）口 径 1,200mm （2）電気設備 ア 放流設備機側操作盤 1面 イ 監査廊電気設備整備 1式 （工 期） 令和2年3月26日～令和5年3月30日 （請負代金（最終（税込み））） 204,611,000円		

【施工状況等】

現場搬入路



ダンプトラック(特殊仕様)搬入



漸縮管架台状況



<業務>

受注者名	業務名 (施工場所)	表彰理由
NTC コンサル タンツ（株）	国営造成水利施設ストックマ ネジメント推進事業 農業用ダム技術検討業務 （鳥取県東伯郡北栄町地内 他）	1. 農業用ダム10施設を対象に施設の状況を的確に把握し、取水設備及び洪水吐以外の放流設備、洪水吐ゲート、洪水吐水路、管理棟・操作室、操作管理設備等の付帯設備に係る「照査対象の選定方針」、「照査手法」、「優先順位」を検討。また、今後の耐震性能照査が適切かつ効率的に実施できるよう、「耐震照査に必要な資料・情報リスト」を作成。 2. 目谷ダム、小田股ダム、京丸ダム、三川ダムの安全性評価のため、委員会における課題を的確に把握。浸透量の分析評価など各ダムの課題の検証方法を提案し、適切に調査・検証を行った。 3. 突発的に発生した課題に対し、迅速に、各種調査を実施し、現状を把握。学識経験者及び専門家からの意見を聞き取り、適切に対策を講じた。また、今後の対応について提案した。 以上のとおり、農業用ダムの安全評価において、多岐にわたる検討課題を的確に把握し、成果を取りまとめたことを高く評価。
概 要 本業務は、農業用ダムの安全性評価のため、農業用ダム付帯設備における耐震性能照査対象設備の検討及び目谷ダム等の技術検討に関する調査・測量・設計を行うものである。 （作業内容） ・農業用ダム付帯設備における耐震性能照査対象設備の検討 1 式 ・目谷ダム等の技術検討に関する調査・測量・設計 1 式 （工 期） 令和 4 年 8 月 6 日～令和 5 年 3 月 23 日 （請負代金（最終（税込み））） 33,330,000 円		

【実施状況等】

<検討対象位置図>



<対象施設>

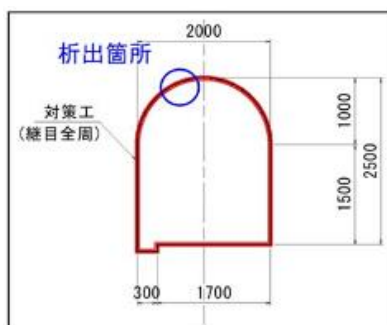
三川ダム_洪水吐ゲート・門柱



西原ダム_管理等



<突発的な課題への対応>



ダム監査廊止水対策部からゲル状の析出物を確認



ゲル状の析出物 (近景)



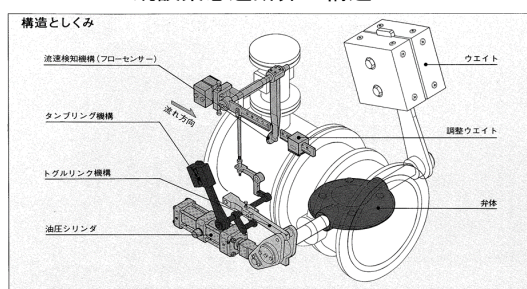
対策工法 (アクリル系二成分合成樹脂系止水材注入) 施工状況

<業務>

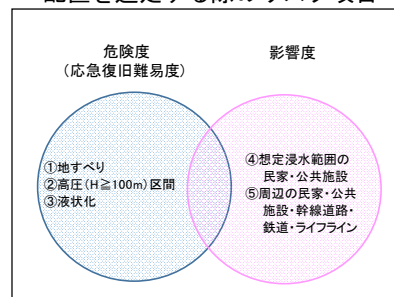
受注者名	業務名 (施工場所)	表彰理由
サンスイ コンサル タント(株)	南予用水施設機能保全事業 南予用水地区実施内容とりま とめ業務 (愛媛県宇和島市、八幡浜市、 西予市、西宇和郡伊方町)	南予用水地区のパイプラインの大半は、上水道との共 用施設であり、通年通水されている。路線は、地形条件 により、縦断変化が大きく、最大水頭は約 300mと高い。 また、路線に幹線道路、鉄道及び住宅等に近接する区間 がある。 本業務の「緊急遮断弁の配置検討」では、既設の緊急 遮断弁の機能評価を行い、重要度評価及び危険度と影響 度を考慮し、新たな緊急遮断弁の配置の検討を行った。 1. 既設緊急遮断弁の機能評価 既設緊急遮断弁は、あらかじめ設定した異常流速値 に達した場合、自動で緊急遮断する仕組み。作動状況 を把握するため、工場実流試験成績書を入手し、作動 する流速(流量)を算定するとともに、漏水量を変化 (4 ケース)させ、作動状況を検討することを提案し、 評価。 2. パイプラインの重要度評価 「農業水利施設の機能保全の手引き」を参考に作成 した農業面(受益面積、復旧の難易性)における重要 度区分と、路線や周辺の立地条件を踏まえた農業以外 の面(立地条件、給水人口)の重要度区分の内容を提案 作成し、評価。 3 危険度と影響度の判定 事故の可能性の大小(危険度)と事故が発生した場 合の被害や影響の大小(影響度)のリスク判定項目を 提案設定し、判定。 4 新たな緊急遮断弁の配置候補地の選定 上記2～3の評価項目ごとに危険度や影響度に応じ て提案設定した選定指標により、配置候補地を選定。 以上のとおり、用水路付帯施設の更新計画において、 既設構造物や周辺の現場条件、現状の課題を的確に把握 し、成果を取りまとめたことを高く評価。
概 要		
本業務は、国営南予用水土地改良事業の 受益地内土地利用状況、事業実施内容の整 理及び緊急遮断弁の配置等を検討するもの である。 (作業内容) ・土地利用状況及び事業実 施内容の整理 1 式 ・緊急遮断弁の配置等検討 1 式 (工 期) 令和4年5月11日～令和5年2月28日 (請負代金(最終(税込み))) 14,795,000 円		

【実施状況等】

既設緊急遮断弁の構造



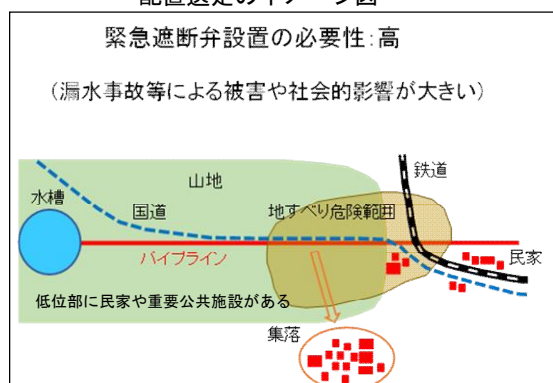
配置を選定する際のリスク項目



配置選定指標

評価項目	評価手法・区分	評価点	備考
施設規模	50000人以上	20点	施設規模に応じた点数区分とする。
	給水人口 5000～50000人	10点	農業専用区間は0点とする。
	1～5000人	5点	
	受益面積 1000ha以上	20点	施設規模に応じた点数区分とする。
事故の可能性の 大小(危険度)	200～1000ha	10点	
	200ha未満	0点	
	地すべり危険箇所該当する区間	0.5点/10m	危険度の高い区間の延長を考慮した点数区分とする。高圧区間の評価は、③類似の高いダクタイル鋼鉄管の導入を考慮し軽減した。
事故が発生した場 合の被害や影響の 大小(影響度)	地震による液状化が懸念される区間	0.5点/10m	
	高圧(H≧100m)区間	0.1点/10m	
	水路周辺の 立地条件		
水路周辺の 立地条件	民家がある場合	50点	人命もしくは社会経済的に重大な影響を及ぼす可能性のある民家及び国道、鉄道等の重要公共施設は危険度の評価(最大80点程度)とのバランスを考慮し50点とした。
	幹線道路(国道・県道)がある場合	50点	
	避難場所・病院等がある場合	50点	
	大規模なライフライン(水道・電気・ガス)がある場合	10点	地域に与える影響が大きいライフラインは10点とした。
バルブ設置効果の 大小(有効性)	想定浸水範囲に民家や公共施設がある場合	10点	浸水被害は、集落の戸数を考慮した点数区分とする。家屋の浸水は経済的な影響が大きい。危険度や影響度の評価点とのバランスを考慮し5点/10戸とした。
	想定浸水家屋戸数	5点/10戸	
バルブ設置効果の 大小(有効性)	上流水利施設(水槽、上分水工)による加減	50点	水槽下流等は、より流水遮断効果が大いいため、別途50点を加減した。
	上流水利施設(水槽、上分水工)による加減	50点	

配置選定のイメージ図

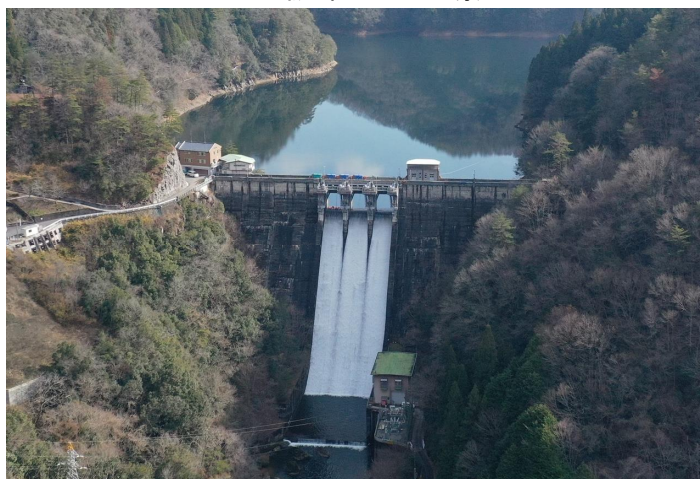


<業務>

受注者名	業務名（施工場所）	表彰理由
(株)三祐 コンサルタン ツ	小阪部川施設機能保全事業 小阪部川地区水利用検討業務 （岡山県新見市唐松地内）	1. 検討に当たり、現行のダム操作規程に用いている放 流量増加制限曲線の妥当性を現地測量及び不等流計算 により確認。受注者は、対象となる下流河川の測量範 囲と位置を現地での的確に把握したうえで、測量及び不 等流計算を行い、流量増加制限曲線の妥当性を検証し た。 2. 放流計画を検討するため、受注者は、施設管理者か ら現状の聞き取りと実績等を踏まえ「ダムと調整池堰の 放流量の関係図」を作成。ダムと調整池堰の運用方 法を可視化することにより、河川管理者及び施設管理 者相互の情報共有に寄与した。 3. ダム運用方法、操作規程修正案の作成に当たって、 受注者は、整理方針、理解しやすい資料整理などにっ いて積極的に提案を行い、河川管理者、施設管理者な ど関係者間での相互理解を円滑に進めることに寄与し た。 以上のとおり、施設更新に伴うダムの操作規定の見直 しにおいて、現状の課題を的確に把握し、成果を取りま とめたことを高く評価。
概 要		
本業務は、小阪部川施設機能保全事業計 画に基づく放流設備の更新に伴うダム操作 規程の見直しの検討を行うものである。 （作業内容） ・下流河川流下能力の検討 1式 ・小阪部川ダム運用方法の検討 1式 ・ダム操作規程の修正 1式 （工 期） 令和4年8月18日～令和5年3月15日 （請負代金（最終（税込み）） 16,060,000円		

【実施状況等】

小阪部川ダム全景



ダム下流河川状況



ダム下流河川の測量位置の検討

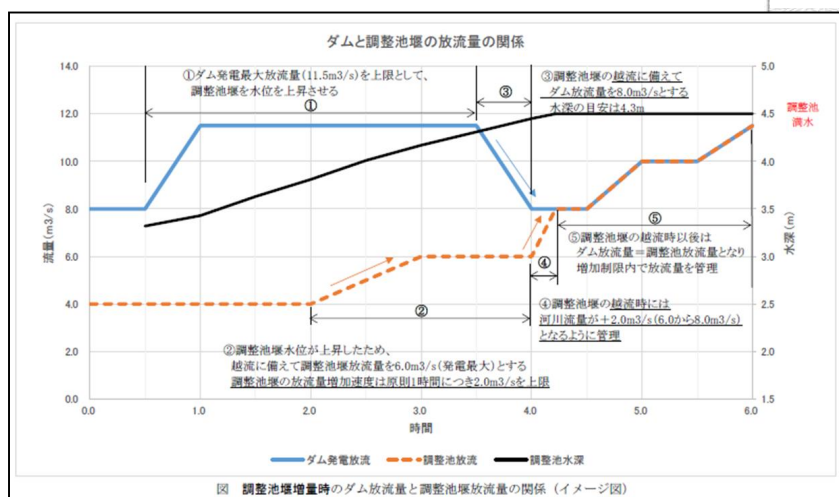
横断測量断面数：計21断面

測点距離200m：15断面

既設構造物位置：3断面

河川の変化点：3断面

ダムと調整池堰の放流量の関係図（イメージ）



<業務>

受注者名	業務名 (施工場所)	表彰理由
(株)チェリー コンサル タント	道前平野農地整備事業 道前平野地区営農推進検討(その 2) 業務 (愛媛県西条市北条地内他)	本業務は、担い手等の農業者に対し、農業経営等の課題に関する解決策や、農地の集積・集約化の推進に向けた改善策について、啓発活動を行うとともに、営農組織等への聞き取り調査等を行うもの。 ①資料作成に当たっては、受注者の発案により有識者(大学准教授)や関係機関(県、市、J A、県土連)の営農担当者を参集し、「道前平野地区の営農推進に係る意見交換会」を開催。意見交換会で出された意見を集約するとともに、資料作成の基礎資料としての活用や、資料作成への編集協力してもらえよう受注者自ら積極的に活動した。 ②また、受注者の発意により担い手等の農業者に対し啓発活動を最も効果的に行うためのパンフレット作成を企画した。 以上のとおり、ほ場整備実施地区において、地域の営農推進のための課題を的確に把握し、成果を取りまとめたことを高く評価。
概 要		
本業務は、道前平野農地整備事業の営農計画に基づく営農推進のため、営農の現状把握、営農目標の提案及び自動給水栓導入実証調査等を行うものである。 (作業内容) ・ 作業準備 1 式 ・ 営農状況等整理 1 式 ・ 営農目標の提案 1 式 ・ 自動給水栓実証調査 1 式 ・ 点検取りまとめ 1 式 (工 期) 令和 4 年 6 月 28 日～令和 5 年 3 月 14 日 (請負代金(最終(税込み))) 14,960,000 円		

【実施状況等】

営農組織への聞き取り調査



聞き取り調査結果による課題整理



担い手等の農業者のためのパンフレットを作成 「明日へ元気 周桑平野の農業」



担い手等の農業者が理解しやすい内容とするため、写真や簡潔な図表を多く用いることや、事例紹介では紹介者の写真を用いて信頼・安心感を持たせ、構成・配置についてはデザイナーの意見を取り入れる等の工夫

事例紹介

高収益作物への転換

<業務>

受注者名	業務名 (施工場所)	表彰理由
内外エンジニアリング(株)	児島湾沿岸農地防災事業 締切堤防(福島側取付工区)耐震検討他業務 (岡山県岡山市南区築港栄町地内他)	1 排水樋門取付部の耐震検討のため、取付部(既設護岸)の機能診断を実施。受注者の適切な現地踏査により、診断に必要な近接目視、コンクリート強度推定試験、セル矢板及び鋼管矢板の腐食代調査等の定点調査位置について、的確な提案がなされた。 2 締切堤防上の道路を横断する耐震対策工の中心線形の検討において、多数の対策工を設定し解析することにより適切な対策工(1重式鋼管矢板)について、受注者からの的確な提案がなされた。 3 締切堤防上の道路は、15,000台/日以上交通量がある。現場条件を適切に把握し、通行止めなく施工するための迂回路等の仮設計画を含む工事計画について、受注者からの的確な提案がなされた。
概 要		以上のとおり、締切堤防の耐震検討において、既設構造物や施工時の現場条件等、現状の課題を把握した提案などで、成果を取りまとめたことは、高く評価できる。
本業務は、児島湾沿岸農地防災事業により実施する児島湾締切堤防(福島側取付工区)の耐震検討等を行うものである。 (作業内容) ・樋門取付部の機能診断調査 1式 ・樋門取付部の耐震性能照査 1式 ・潮止工区から福島側取付工区の工事計画 1式 (工 期) 令和4年9月22日 ~ 令和5年3月25日 (請負代金(最終(税込み))) 37,785,000 円		

【実施状況等】

○検討対象位置図



○締切堤防横断面図

